大学電気系教員
210人議論交わす
県内初、八戸で研究集会

大学の電気系学科の産学官の連携や大学と地域の交流、エネルギー教育などについて議論を交わした。岩手大学工学部の高木浩一准教授は、「大学と中小企業の連携を通じて、地域の大学でできることが大切だ」と述べた。幹事大学である八戸工業大学の社会連携学術推進室長の関秀広教授は、「研究集会が勉強になった」と話した。

活発に議論する参加者ら

※「この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです」